京路守む、既立策争中の臨

ブバS。 国際・ 介護関系 音が 町つて東めけ意見や要壁を疏 策以取り入が、も年後以臨映 軍の人多交えア監知できげの いこのを対話することを答え

ナン
き
は
は
の
前
で
、
実
想
き
広
の ア歴を写き上訳する臨時並の民姓(ひ)(東京路四田市で)

シンポジウム。出職雅賞さん

59)が、「できなくなった」

「月不同ご踏内が開你はげ

阳

臨映並の人が発言し始めず ちてみむお、2004年以京

ージを改めたいという思いが

。といとならなび

山手線の電開んで 信賞した。地上順お、命令 でイ順お、地上順から合命 合き受けて、勝本の登櫓を

来上のの・円砂草ンボーを の送言と同語にロガッイ順

な情覚を始めけら考え、本 | 公園が、場以呼替しけや回

京路豊島区のし兄山手駿碣 

とうというと

初淡の日一颗トなと財哺

つ"、四国な

雨量打八州

の日子後の掛や代酎、

間重演を見合けが、始して 4000人以湯響が出
が。 グアントのこのイドアルで 山手線や回らむ全線路一部

中日旦

自日打

サンなとい

日本部側の こなる恐れ

号SL图号

台風り号 東シナ研奏

助し気が、

している前のでしてつ いる台風ら こか配帯は

(ご意見・ご徳駄を「井谷

「多くをは、一条を

の重路光기は高

TOO BOOK

の、当事者主対の内容ご変小 おおう、自允が少で生きげい

というにトマーをは合うである。 中・ロームの(ハドハロ・凹 オルイマン事務局見むこう話 てころ。支鄧の依象としてで る値含む、英国や大でくどお **対策子のきのき大きく変む**に す。「本人公参加をふじとが、 とう思い始まっている。

当事者が対策があばいなられ

せんでしたから」「臨田金と 本量づき患者向りの内容 のきのおおう、不安を履いま は別とかけ人の苦しみよりお まず、家親の不安まらでいか 

圣

い熱帯電話のアラーム機能を 動い、 電話で 却おう文字 が數

こ。夏林みの間、かの味用者

人「毎田市でな谷のの職」な

楽を残む視間を忘れないよう

がと不動なことおある。なが、

日部分分からおうかる。

民当なる争前、前題側随座 探のBN、 が
気絶影
で 電拍
窓

しおといるようでもし

かくを一の永田久美予研院偏

ると実施しアける。北蔵
J
出版

アノールで連絡するなど、エ

と学童界育で滅ぎ居を読入

い。「下ともの)即から臨田油

の人ご発をふうとが、野踊公

緊まれば」と思性は顧う。

ったいしと思いを語る。

を上げ始めた。その言葉の多

ンジむ、新来の臨田軸のアネ

教をお慰う臨田並の人が声

「北北語を聞くれむ らこ生かすか。そこでなけれ お、个態をふ順のかめの説家 が中心になってしまで」と懇 りな〉、 本観や思いを 強第ご 児受おど

34き

働

NFO対人「臨府強性事子 る少なくない。

りしばが、当事者のころな言

薬が售き込まれている。

の会」が重営をるトンを一条

Aのかのしな」路出路アル

マストンは単海公

各様の面でず

9

状会と表も

真っ白いなっか なる」と随の中が

が、自代の副見が

きな食べ味わ」と質問女のソ

のというではいるの

が会の関心お高までがが一个 題される枚象」とだけ見られ 

い。 越腎鎖一方人(始人) 公

路市が開你付け国際で小ツハ イマー財協会国際会議がで

しお客いが、できることもた

くちんある」と指えた。

実各で糖蔵し、臨

**成型へのイメージ** 

を出るた。

認识郭

一百かなからなく

面と診断された。

成立総合技策ジャ本人の思い お値を行った場合、味用者公 調小を受けることを認めた。 おの年に認 田油」い数 え、国際 

まら、西京 いの声が高

58歳未虧の寺中 判SB 保証の人 きお少しずい始末っている。

ーツスなどで耐品頭読や
青掃

の「働きたい」という言を受

%/ <u>域十人の小学</u> 世多前 3 琳

で、8月中旬、市内の男對(川)

人のお

両勝谷、憂しく強をふうもの 芝用を読んだ。臨田並びなら 大砂ちを捧える内容がです。 い財母を心配する男のモン

が「えい」と声を上むけ。す 男型の言葉に、下ともだち

タンに大変なころが同り」「知

SEL

「実おおいちんき臨映証が

38

東京階四田市内の学童駅會

ハーサルア、スレー見逃す トトンロンし人又人来見再挑弾

(1

出業

宇宙海空研究開発激費してご答表した。受情もには